

議事録署名人：三上和久 書記：花田諭 議事進行：森脇健司

参加者（出席者, 委任者に委）

最高顧問 稲川素子 顧問 山田博明 富田圭潤

顧問弁護士 正田光孝 顧問税理士 池田奈智

森脇健司 小林恒路 樋口暢哉

正藤隆史 三信真樹 寺門駿 花田諭 木下聡明 貫名強

委 西尾浩一 近藤誉仁 朝増拓哉

山崎博道 松岡佑紀 委 加治屋貴士 加藤義人

上脇友季湖 毛塚陽康 清水基允 Shao 橋本悠

委 末安祐一郎 小野晃歳 委 菅野純代 委 石川浩之 新井健伊稚 田原健二

大下修弘 井川まゆみ 片山雄暉

歩浜敏夫 大坂宜史 田中航介 水出光 三上和久 中川真仁

斉藤達哉

JBDF中部 山本章緒 JBDF九州 大井賢一

JDC九州 倉地宏治

【各選手会からの現状報告】

●EJBDF選手会長 小林恒路より

特になし

●JCDC会長 森脇健司より

特になし

●JPCL会長 樋口暢哉より

特になし

【各部報告】

●経理部（正藤隆史部長）

通常通り業務を行った

●総務・統括部

総務担当：花田諭

特になし

統括担当：西尾浩一

通常の連絡業務を行った

●企画・事業部（山崎博道部長）

DANフェスについて（松岡佑紀実行委員長）

運営委員会グループに投稿したファイルについて、著作権関係の記述について今一度精査してから、会員連絡を依頼する

賛助会員に対してのリターンのアイディアは、賛助会費の特典に対価性があると賛助会費に対して税金が発生してしまう。賛助会員を生徒さんに持つ先生方にリサーチしていただいたところ、見返りを求めている感

じではない。それに甘えて何も無いというわけにはいかないで、お礼の動画メッセージなどでお応えする形ではどうか。

●渉外部（末安祐一郎部長）

特になし

●広報部（新井健伊稚副部長）

SNSの更新を行った

賛助会員の特典について継続して討議中

●監査（大下修弘監査役長）

特になし

【その他】

●NDCJ管理委員会報告

8/23開催

今年のパルカーカップについてシラバスの承認が行われた

統一10ダンス、統一ショーダンスの審査員の割合はJBDF3：JCF3：NDCJ/U2

フリーダムズカップに対するJBDF・JCF・NDCJ/Uからの出場はしないようにとのこと

→JBDFとJCFについては各団体競技規定に則るようにとのことで、それぞれの団体内で認めていないという話がある。NDCJ/UはNDCJ傘下であり、NDCJとして認めない方向

各団体他団体の競技会に出場する場合は、各団体理事会の承認を得てからにするようにとのこと

→現状は希望者がいることを報告しても、否決されるのではないかと

フリーダムズカップのシラバスは、選手会に直接きており、各団体には話がなされていない状況であるため、それでは各団体選手も役員も出すわけにはいかないということになる

JDCの本部運営委員会にABDC執行部が出席するので、団体を通して情報を流すよう伝えてみる

ABDCからJDCとの交渉をして欲しいとNDCJに伝えたこともあるが、JBDFとしてはスーパージャパンカップなどでJDCに対して対話を呼びかけたが、JDCからはリアクションがない状況とのこと

今後対話をしていく準備はあるとのことだがどうなるか分からない

統一ショーダンスは無観客で動画配信もしないということで、著作権について「その場限りでの使用」で申請することで承認

スーパージャパンカップについては別件になるので、それに向けての説明会が開催される予定後日報告がされると思われる

来年の統一全日本にパルカー社は協賛しないことが決まった

11月20日に新パルカーカップを開催する旨が、JBDF、JCF、JDCのトップが呼ばれて話がされた

JBDFとJCFは持ち帰ると返答したところ、JDCが主体となって行うように話があった

今後ABDCでも話し合っていかなければならない案件になる

NDCJ/U所属選手のJBDF競技会への出場条件について、書面で提出すると言われていたが8/23の管理委員会ではまだ結論が出ておらず、9/13に千田先生にABDC執行部が話を聞きに伺う

今後の展開次第では、新バルカーカップにWDOに所属する著名な審査員が多数呼ばれ、賞金も高額であるといった状況になった時に、各団体選手会毎に意見をまとめるのか、それともABDCでまとめていくべきなのか→ABDC理事会では選手の権利を守るために、統合検討委員会も活性化させ動いていこうということになった世界の状況もこれから変わっていくと思われるが、国内の状況について選手の自由を求めて動いていくべく話を進めていきたい

●NDCJ管理委員会出向者選出

9/27(月)開催 小林、樋口、森脇(15時から出席)

●NPO関連

顧問の富田氏より話があった保育園を通じてダンスを普及する話について、コンサルタントの方と会議を持った

その席でコンサルの高坂さんの顔が利く保育園でプログラムを試させていただくことが決まったプログラムの1回あたりについてはほぼOKをいただいたので、3ヶ月で全10~12回などパックにしていく今月末にまた2回目の会議を持つ予定

月次支援金の事前確認を行った

4組の申し込みがあり、7~8月で3件確認を行い、1件予約のみの先生がいる

今後も同じ条件で事前確認を行うが、個別で対応するので、事前確認が必要な先生は直接メールを下記まで送ってください。

予約用アドレス : manager@socialdance-npo.or.jp

月次支援金HP : <https://ichijishienkin.go.jp/get Sujishienkin>

DANフェス!2021にてNPOが主体となって行う企画「観たらダンスをはじめたくなる動画コンテスト」についてInstagramやTwitterに投稿したらNPOに報告していただき、最優秀賞30,000円、優秀賞20,000円、審査員賞10,000円を、今後の活動の為に御使用いただくという形でお出しする選手会会員連絡でも流していただきますし、NPOでも独自に発信していきます

全国共通ステップがダンスビューDVDの2ndコンテンツとして8/27発売号から開始

今後最低10ヶ月以上、DVDの後半10~20分と毎号カラー1ページで連載予定

●ABDCホームページについて

一般の方がABDCホームページ内から議事録見られているのではないかとということがあった

どのようにして情報を得られたのか経緯は不明

早急に吉田先生に対応をお願いした

今後のために、執行部が変わる毎に選手会員用ページ閲覧用パスワードを変更してはどうか

→パスワード変更について承認

●災害見舞金プールについて

JBDF選手会では承認となったが、JPCL、JCDCは承認されていない

JCDCの中では、出さないというわけではなく「その都度出す」という総局もあった為、そのような形で良ければという状況

JPCLとしてはまだ未加盟の総局もあるため、全国的にはまとめられない

その都度JPCL理事会におろして承認を求める形になる

各団体均等で割り振るならば、という話であったため、JBDF選手会としても現状を持ち帰って再度話し合う必要がある

被害額については災害見舞金規定の叩き台がある

10,000,000円以上で200,000円

5,000,000円～10,000,000円で100,000円

1,000,000円～5,000,000円で30,000円

100,000円～1,000,000円で10,000円

もしくは

スタジオが全て滅失した場合100,000円

半分以上の損失で50,000円

勤務先が該当となる記載しかないため、自宅やダンス衣装なども含めても良いのではないかと

この件については、一度執行部で討議する

関連して、

線状降水帯などでも被害にあったケースもあるのではないかと

被害に対して多少出せるお金もある

北九州が今回最も激しかったようだが、全国の様々なところで小規模な洪水など被害はあった模様

被害を受けた方は連絡をくださいということで良いのではないかと

JCDC九州より御礼

5年前の熊本大地震の際にABDCから九州にいただいた災害支援金を、災害に遭われた教室を含め、今年熊本でパーティーを開催し、そのための費用として使用させていただきました。ABDC運営委員会の場をお借りして御礼申し上げます。

●白門保険事務所の方がABDC運営委員会にて時間をいただきPRの為の説明を行いたいとのこと

→理事会への参加について承認

先方から送られてきたPDFファイルを運営委員会グループにて事前に共有する

●ABDC理事会報告

各団体各総局選手会会長が理事

それ以外にオブザーバーとして副会長にもご参加いただいた

最近のダンス界の状況について報告を行なった
WDC傘下、WDO傘下の団体があり、出場可能競技会や禁止競技会などについて共有した

新バルカーカップについて情報共有がなされた

ABDCとしてまとまっておくことが大切であり、各団体各総局で状況は異なるが、選手が出場したい競技会に出られるよう動いていこうということになった

全選手がどの競技会にも出られるようにという大きな括りでの自由を求めて動いていくという認識
選手会が選手を守ると公表したところで、各所属団体の競技規定によって縛られているという条件を変えることは難しい
競技団体に対して攻撃的になりたいわけではないので、ABDC所属の全国の選手的意思として、競技会出場の自由を求め訴え続けていくことが大切

権利を主張するにあたり、選手の義務として所属団体の競技会が盛り上がるよう観客動員に努めることも大切
義務を果たさずに権利を主張するのは筋が通らないという意見も出た

各団体の競技会が寂しくなる状況になってしまうと、より締め付けが強くなってしまふことが懸念されるため、身近な競技会を盛り上げることも大切

統合検討委員会を再度活性化させていく話が先月の運営委員会で上がり、理事会でも報告がなされた
理事、各団体ファイナリスト、運営委員会各部部長に入っていただき議論を進めていくことで承認が得られた

自由を求める書面を各団体に向けて提出する方向で考えている

そもそも選手が競技会を選べないのはおかしいのではないか
フリーダムズカップのシラバスが選手会に直接きているのがおかしいという団体の主張も違和感がある
確かに所属団体の競技会を盛り上げる義務という感覚は理解できるが、日本国内の狭い世界に縛られた感覚でいるのは良いことなのだろうか
皆で出せば良いのではないかと思ってしまう

スポーツ系とアート系でダンス界が分けられている現状
WDSFの方が社会的な組織力を持って運営されている
それゆえ活動によって社会に還元していく必要がある
WDCなどは選手はニワトリという感覚
急にルールがなくなると不安に思う選手もいる
一度壊れてしまわないと難しいところもある

組織のあり方を急に変えるのは難しいとして、選手が好きな競技会を選ぶにはどうすれば良いか

ABDCに属する選手全員が政治にとらわれず、ダンスの向上に集中して競技会に挑んでいくことができればそれが最も力強いアクションになる
組織に縛られている選手という日本ダンス界現状ではそれが難しい

個人的にアクションした人は組織に叩かれる

各競技団体と争いたいわけではないが、選手の自由を求めて発信し続けていくと理事会ではなかったが、どれだけ強くやり続けられるのだろうか

例えば無所属で、そういう選手にも手を広げてくれる競技会に出場していくという選択肢も作れないか
団体に所属してやっていく選手の選択も、どちらも選手会としては尊重することができれば

これまでのNDCJ管理委員会の中で選手会として発信してきている中で、JDCの選手は選手の自由を求めている
と言ってきているが、今回の理事会の決定を受けてABDCの総意としてそのような主張をしていけるのではない
か

選手を守ろうとしても、状況によっては選手に対する縛りが強くなる可能性もある
選手を守れないような状況を作るのは望むところではないが、最終的なゴールを見失うことなく動いていき
たい

選手会で色々とやっていきたいところではあるが、団体の思惑が見え隠れする動きに選手が右往左往する中
で、選手の仲が悪くなっていくことが懸念されることもある
選手が動くとかえって選手が割れてしまうのではないかという不安もある

そもそもシンプルに選手が出たい競技会に出るという意味では、上部団体に対して選手が団結することがで
きれば一番力があると感じる

選手が出ない競技会は上部団体にとって何の利益も生み出さない

ABDCがそういった理念に則って作られているならば、選手の力を見せるために、規則の前提がないならば特
定の競技会にどれだけ選手が出たいのかりサーチして、一定数いるのであれば上部団体に対して「これだ
けの選手が出たいと言っている」と訴えることもできる

今の状況では上部団体同士で選手を駒として取り合おうとしているように感じられる

現在所属している団体を辞めたいということではなく、出たい競技会に出ただけで、それを自分達の駒で
あるから縛ろうとする上部団体に対して選手は力を持っていると感じられるところもある

選手がまとまるということが大切

何のためかということと選手が選択の自由を持っていることのため

出ない自由も出る自由も持っているべき

様々な価値観の選手がいられる場を用意することを、選手会は考えられる組織であるべきはないか

自分の所属団体の競技会に出られることは既に出来ることなので、出たい競技会に出られない状況を打開す
るために活動していくことが選手会として大切なのでは

現状選手は出たいと思う競技会のシラバスを、上部団体の意向で共有することさえできない状況がある
上部団体が認めない競技会に出場した場合、登録が抹消される可能性もある

今回の混乱を起こした団体を、ABDCが応援していると見えるようなアクションはして良いものだろうか

各選手会、各上部団体の関係の都合もある

現状各選手会長が各団体にお伺いを立てなければならないところがある

しかしそれで良いのならば、そもそもABDCで集まっている意味がない

せいぜい3会長が集まって懇親会を行っている程度で十分

各団体にお伺いを立てなくて良い方法を考えるならABDC運営委員会の意味がある
どのレベルまで共有していくのか詰めていけないか

ABDC理事会で決定した選手会として自由を求め続けていくことや、統合検討委員会の活性化ということから、もう一歩先に進めていくべき

今後組織間の争いに巻き込まれない選手会でありたい

ABDCで色々考えている状況の中で、JDCはそもそも他団体との対話を諦めて開き直って進んでいるように感じられる

その状況の中で選手会の会議を行うと選手の仲も悪い雰囲気になるのが納得いかない

次回会議予定 9月28日(火) 22:30よりGoogle Meetにて

議事録署名人

三上和久 